

まちかど

● 荏原第一地域新聞 ●

花めぐり

ブラシノキ

♪この木 何の木 気になる木・・・



1度見たら忘れられないインパクトのある赤い花は、ちょうど理科の実験で試験管を洗うときのブラシそっくりです。

英語では、Bottle Brush (ボトルブラッシュ)。ギリシャ語では、カリステモン(Kallos:美しい+Stemon:雄しべ)と呼ばれています。

ハナマキ(花楨)やキンポウジュ(金宝樹)という名でご存知の方も

いらっしゃるのではないのでしょうか。

その赤いブラシ部分は花序と呼ばれる雄しべと雌しべの集団です。その花序の先から枝が伸びるといふ珍しい特徴があります。花弁は緑で小さく目立ちません。

この花が見られるのは5~6月頃。“小鳥の集まる樹”として好まれ、庭木や街路樹として利用されており、写真は平塚橋近くで撮影したものです。(撮影者:山内広報委員)

(小山3丁目 柿沼 恵子)



魚を採って喜ぶ子どもたち

地引網を終え、つぎは木更津市に移動し、ホテル三日月にてバイキング料理を堪能しました。お腹を満たしたあとは、温泉で疲れを癒したり、プールで楽しく泳いだりと参加者は笑顔で満ち溢れていました。大きな事故も無く、参加者全員が無事に武蔵小山に帰って来られました。みなさん、お疲れ様でした。(事務局)

地引網&ホテル三日月

地区委員会主催による春の企画「親子で行こう!地引網&ホテル三日月!」が、5月15日(日)に行われました。子ども37名、大人37名、地区委員15名、事務局3名の計87名が参加しました。

地区委員会 春の企画

当日、朝7時に武蔵小山を出発し、まずは千葉県富津市の富津海岸に向かい、地引網を体験しました。富津海岸の浜辺に着くと、大きな海が大勢の参加者を待ちわびていたかのよう

荏原4丁目町会 防災活動と地域の絆(2) 防災推進部の新設

3. 平成25年度

《防災エリアでの初期消火の徹底》

実効性のある継続した仕組みづくりを行うため、「防災活動推進委員会」なるプロジェクトチームを解消した。そして、町会内組織に「防災推進部」を新設し、活動を継続することにした。(1)町内を7つの防災エリアに細分化し、地域火災に対応 初期消火をより充実させるため、水道消火栓を中心とした7つの防災エリアに町内を細分化しました。1つのエリアは戸建て45~70世帯となり、隣組感覚で活動できる範囲です。



スタンドパイプ操作訓練

(2)7エリアの全ての水道消火栓付近にスタンドパイプ・ホースセットを設置。

各エリアの水道消火栓のそばに、それぞれスタンドパイプセットを設置し、発災時の地域火災の消火に対応します。(3)エリア毎に順次訓練を実施(参加者全員体験)。

①7つのエリア毎での訓練を開始しましたが、その訓練内容の1つ目のスタンドパイプ及びホースの操作訓練では、(a)水道消火栓のマンホールの蓋開け、

(b)スタンドパイプの着脱、(c)ホースの結合取り外し、(d)最後に放水体験を参加者全員に体験してもらいました。②集会場にて、非常食の缶詰パンを試食しながら地震火災のビデオを鑑賞し、自己紹介や訓練の感想・意見交換をしました。

エリア毎に訓練をすることで、防災に対する関心と意識が確実に高まり、主婦や高齢者はもちろん、普段は仕事などで多忙なご主人や中学・高校・大学生の参加もあり、「みんなで地域を守ろう」との意識を感じました。また、普段近所に住んでいながら意外と知らなかった名前や顔もわかり、親近感と「地域の絆」が生まれました。(荏原4丁目町会 防災推進部)

チャドクガにご注意を!

春先から秋頃にかけて注意したい毛虫が「チャドクガ」です。チャドクガは毒針毛という細かい毛で覆われていて、触れるとかゆみを伴う皮膚炎を起こします。公園の植え込みにも大量に発生しているのです、特にお子さんには注意が必要です。

●発生は年に2回 ツバキやサザンカなどのツバキ科の植物を好み、幼虫(毛虫)は、4月~6月、8月~9月頃に発生します。

●幼虫に触れた時の症状・処置方法



かゆみを伴って赤く腫れます。毒針毛に触れたと感じたら、セロハンテープなどで押さえて毛を取り除き、強い流水やシャワーで洗い流します。決して掻いたりこすったりしないでください。炎症が広がります。

●公園で見かけた時は、次へご連絡下さい。(連絡先)公園課公園維持担当

03-5742-6789

◎各ご家庭に配布しております。1部ずつお取り下さい。次号『まちかど』は、7月20日(水)発行の予定です。

「まちかど」は、品川区役所ホームページからもご覧いただけます。 <http://www.city.shinagawa/tokyo.jp/>

古紙を配合した紙を使用しています